

3月5日



看護の道へ40人の門出 市立看護専門学校で卒業式

市立看護専門学校で平成30年度卒業証書授与式が行われ、40人が医療の現場へと巣立ちました。

卒業生一人ひとりに卒業証書が授与され、卒業生を代表し嶋川唯那さんが3年間の感謝の気持ちを込めて答辞を述べると、他の卒業生も感極まり、涙する場面も見られました。

同校は2020年3月末で廃校が決定しており、来年度が最後の卒業式となります。

2月17日



甲冑姿の武将らがお出迎え JR安土駅前の広場が完成

老朽化などにより進めてきたJR安土駅周辺の整備工事が完成し、駅周辺で完成を祝うイベントが開催されました。甲冑姿の武将や姫などに扮した市民らが練り歩き、観光客をもてなしました。また、安土小学校や安土城郭資料館などでは、パフォーマンスや写真展、スタンプラリーなど多彩な催しが行われ、終日、多くの人で賑わいました。

3月2日



はにかみながら「はい、チーズ！」

旧市街地の商家の座敷で、幼児や小学生に親王飾りの衣装を着てもらい、親子でひなまつりを楽しんでもらおうと、「おだいき様とおひな様の無料体験」が3月2日、野間清六邸(永原町上)で行われました。

この日は、約40人の子どもたちが、あでやかな衣装を身にまとい、お父さんやお母さんらが写真撮影を楽しみました。



福若 諒太朗さん
(八幡西中2年)

加藤 歩夢さん
(桐原小4年)

親子でチャレンジ! ぱくぱくレシピ 平成30年度のグランプリが決定

苦手な野菜料理や魚料理をぱくぱく食べられるようにと、市内の小・中学校や幼稚園、こども園の親子を対象に募集した「ぱくぱくレシピ」。応募のあった11のレシピから、野菜料理は八幡西中2年の福若諒太朗さんの「夏を乗り切れ! 野菜たっぷりのいため煮」が、魚料理は桐原小4年の加藤歩夢さんの「タラのスパイシーからあげ」が今年度のグランプリに輝きました。市ホームページでレシピを公開していますので、皆さんぜひお試しください。

準グランプリの
レシピもあります





「やりたい！をカタチに！」 キッズフリマ in 近江八幡

ママたちの「子ども用品のフリマがないよね」の声から昨年2月に始まり、今回で4回目の「キッズフリマ in 近江八幡」が2月23日、八幡堀沿いの「ほりかふえ」にて開催され、たくさんの親子連れでにぎわいました。

会場では、ママによる手作りマルシェやワークショップのほか、子どもたちが手作りした作品に自ら値を付け販売することも店長が3組参加。この催しは、フリマを楽しむだけでなく、こども店長やマママルシェを通して、子どもたちやママたちの「やりたい！」をカタチにすることができます。また、「物を循環させるといことは環境にも優しいこと」を自然と学べる機会にもなっています。

今回は5月5日(祝)に「プチ」キッズフリマ in 近江八幡として、みんなの食堂おほりばにて開催予定。こども店長の活躍が楽しみです。

赤こんりポート



地元食材でひなまつりレシピ 親子で調理楽しむ

地元の食材を使って小学生がひなまつりのメニューレシピをつくる「ひなまつりメニューレシピコンテスト」が2月16日、ひまわり館で行われました。

近江八幡商工会議所女性会が主催。お母さんと子ども、お父さんと子ども、おばあちゃんと子どもがそれぞれタッグを組み、60分で自分たちの考えたレシピをつくり競い合います。

皆さん本当に発想が豊かで、素晴らしいひなまつりレシピ料理が完成しました。これぞ、地域のアイデンティティを育む情緒教育につながる取り組みだと思いました。

3月10日



震災を忘れず、防災意識を高めよう

東日本大震災の発生日から8年目を前に、ガールスカウト湖東地区の団員が3月10日、近江八幡駅南口広場で「3月11日を忘れない、KIZUNA Day」と題し、防災・減災の体験活動を実施しました。

団員のほか、街頭で呼びかけた一般の人も参加し、竹ざおと毛布を使い簡易な担架を作ったり、風呂敷と雑誌を使い三角巾を作ったりするなど、災害時に自分や他の人を助けることのできる知恵や工夫を学びました。



広報おうみはちまんが 県広報コンクールで知事賞を受賞！



平成30年度滋賀県広報コンクールで、広報おうみはちまん11月号の表紙写真が、広報写真の部で知事賞を受賞しました。平成26年度にも同部門で受賞し、4年ぶりの受賞となります。審査では、「夫婦都市50周年という企画に合った演出や撮影の位置が良く、被写体の表情や千羽鶴の広がり、全体の色調が美しく撮られている」などと評価されました。

これからも、皆さんに愛され親しまれる広報をめざして努力してまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。